

Virtual Recovery 導入事例

高校の事例

今まで動きがわるかったCADやグラフィックソフトウェアが
快適に動作



課 題

- ① 3D-CADソフトや3D-CGソフトを使用しているが、動作が遅く、授業に影響がでていた。
- ② シンクライアントソフト(他社)のイメージの管理作業に時間がかかり、情報担当の先生の負担になっていた。

Virtual Recoveryを
導入しました

シ ス テ ム 構 成

- ・ デスクトップパソコン (Windows8.1 Pro) 42台
- ・ ソフトウェア : Office2013 Pro、SOLIDWORKS、Shade3D、AutoCAD、Mastercam
- ※画像転送システム(RDS-Real) で中間モニターに先生画面を表示

方 法

- ① 1台のP Cで更新作業を行います。
- ② サーバーでの作業は必要なく、全台のP Cが自動で更新されます。



導 入 の 効 果

- ① 3D-CADソフトや3D-CGソフトなどの負荷のかかるソフトが快適に使用できました。
(パソコンの性能を100%発揮)
- ② 更新作業が簡単にでき、今までよりも更新作業が短い時間でできるようになりました。
(1回の作業時間 30分以上短縮)

【先生からのコメント】

今までのシンクライアントと違い、
イメージの管理方法が簡単なので、
更新作業時に頭を悩ますことは一切なくなりました。
3D系ソフトがレスポンスよく動くので
生徒にも好評です。

Virtual Recovery製品サイト

<http://www.ces-p.jp/vr/>



コンピュータエデュケーションシステム株式会社
Computer Education System Inc.

〒292-0827

千葉県木更津市港南台3-1-1

TEL : 0438-30-0031 FAX : 0438-30-0036

Web Site: <http://www.cs-grp.co.jp/ces/>

mail : m-nishimura@cs-grp.co.jp

詳細については、当社までお問い合わせください。